

## 千曲市立小中学校における働き方改革に係る取組状況について

千曲市教育委員会  
教育総務課

### 1 はじめに

社会情勢の変化に伴い学校が抱える教育課題は多様化・複雑化しています。そのような学校現場を取り巻く環境が変化するなか、教職員の職務は多岐にわたり、その時間的、精神的な負担が大きくなっています。

そこで本市では、教職員の「働き方改革」を進めるうえで、県や市の加配教職員の適正な配置、校務支援システムの導入、中学校の部活動指導員の配置や部活動地域移行（千曲坂城クラブ）などに取り組むことにより、本来の教育活動に専念できる環境整備と、すべての児童生徒の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、更なる教職員の働き方改革を推進してまいります。

### 2 千曲市教職員の勤務実態

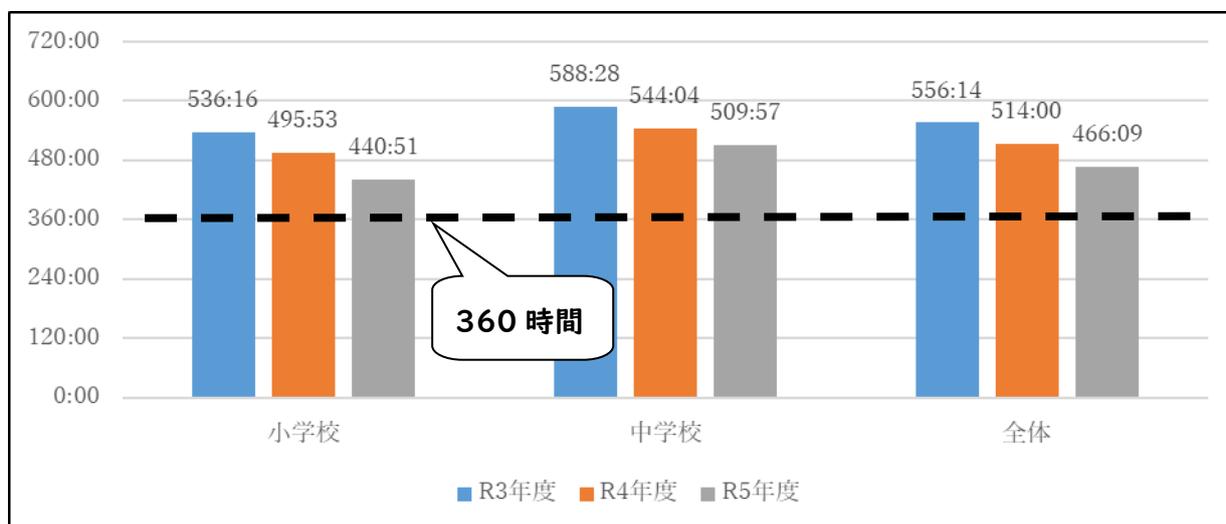
市内教職員の時間外勤務平均時間 年間総合計時間の経年変化（過去3年間）

※ 休日勤務時間、持ち帰り仕事時間を含む

※ 市内9小学校、4中学校に勤務する教職員の平均時間

（時間：分）

	小学校	中学校	全体
R3年度	536:16	588:28	556:14
R4年度	495:53	544:04	514:00
R5年度	440:51	509:57	466:09



### 3 なぜ教職員の働き方改革が必要か

- ・ 子どもに向き合う時間を確保し、ゆとりのある指導をするため。
- ・ 最も大切である授業の質を高め充実させるため。
- ・ 教職員の健康の保持のため。
- ・ 教職員の家庭生活を守るため。

### 4 教職員の働き方のポイント

- ・ 教職員の働き方に対する意識改革
- ・ 教職員の業務の見直しと業務改善の推進
- ・ 学校を支える人的配置
- ・ 中学校部活動の負担軽減

### 5 具体的な取組

#### (1) 超過勤務対策

- ・ 学校リフレッシュウィーク（学校完全閉庁日 お盆を含む連続休暇・年末年始）
- ・ 定時退勤日の月2回以上設定
- ・ 勤務の割り振りをしやすい日程の工夫
- ・ 校務時間を確保するための下校時刻の前倒し
- ・ チラシ等配布物の削減等

#### (2) 学校運営改革

- ・ 会議の精選（会議時間の短縮 時間外含む）
- ・ 行事の精選
- ・ 研修会の精選
- ・ 小学校教科担任制
- ・ 学校開錠時刻の調整
- ・ 下校時刻を早くする

#### (3) ICTの活用（校務DX）

##### ① 統合型校務支援システム（C4th）

- ・ 児童生徒名簿管理
- ・ 成績管理
- ・ 出欠管理
- ・ 欠席連絡アプリ
- ・ 保護者連絡アプリ
- ・ ICカードやアプリによる出退勤管理

##### ② テスト採点支援システム（R5 試験的に運用し、R6 から本格導入）

- ・ 選択問題の採点がほぼ自動化
- ・ 記述式問題の採点基準の統一化が容易
- ・ 点数集計の自動化、問題単位の正答率等のテスト結果分析が容易

- ③ Google クラウドの活用
  - ・ビデオ会議アプリ Google Meet
  - ・学習支援アプリ Google Classroom
  - ・アンケート作成アプリ Google Forms
  - ・文書作成アプリ Google ドキュメント等
- ④ 校務サーバによるデータ共有
  - ・過去のドキュメントといった資産を教職員間で共有が容易
- ⑤ 最新型印刷機の導入
  - ・R4年度～R8年度までの長期継続契約 点検、保守料金や消耗品費込みの一括契約
  - ・学校ではランニングコストを気にせずに高速印刷が可能

#### (4) 学校徴収金関係

- ・給食費の公会計化（学校給食センターで管理）
- ・学年費旅行貯金の口座引き落とし（多くの学校）

#### (5) 児童生徒への支援（人的配置）

- ・市費特別支援教育支援員
- ・市費教育課題支援講師（理科専科等）
- ・市費学校事務員（大規模校2校）
- ・市費学校図書館司書（全小中学校）
- ・市費教育支援センター指導員
- ・市費チャイルドサポーター（R5年度～ 訪問型支援）
- ・市費保健業務補助養護教諭
- ・教員業務支援員（県費）
- ・学校支援ボランティア（見守り隊・校内ワックスがけ等）

#### (6) 部活動の負担軽減

- ・市費部活動指導員（R3年度～）
- ・千曲坂城クラブ（R8年度に完全移行を目指す）

## 6 今後の必要な対策

- ・各種教育支援ツールの導入検討（G I G Aスクール推進委員会）
- ・学校ホームページシステムの更新（ブログ形式・承認システムの導入）
- ・市会計年度任用職員の勤務管理システムの構築（紙ベースからデジタル管理に）
- ・学校徴収金を現金（手渡し集金）している学校の口座引き落とし化（アプリ活用）
- ・学校行事などの臨時の学校徴収金の口座引き落としシステム（アプリ活用）
- ・人的配置、支援体制の充実
- ・県費不登校児童生徒支援加配教員がつかない学校への市費不登校児童生徒支援員の配置
- ・中学校部活動地域移行の推進
- ・学校施設・設備の改善（内線電話・校内W i F i 環境など）